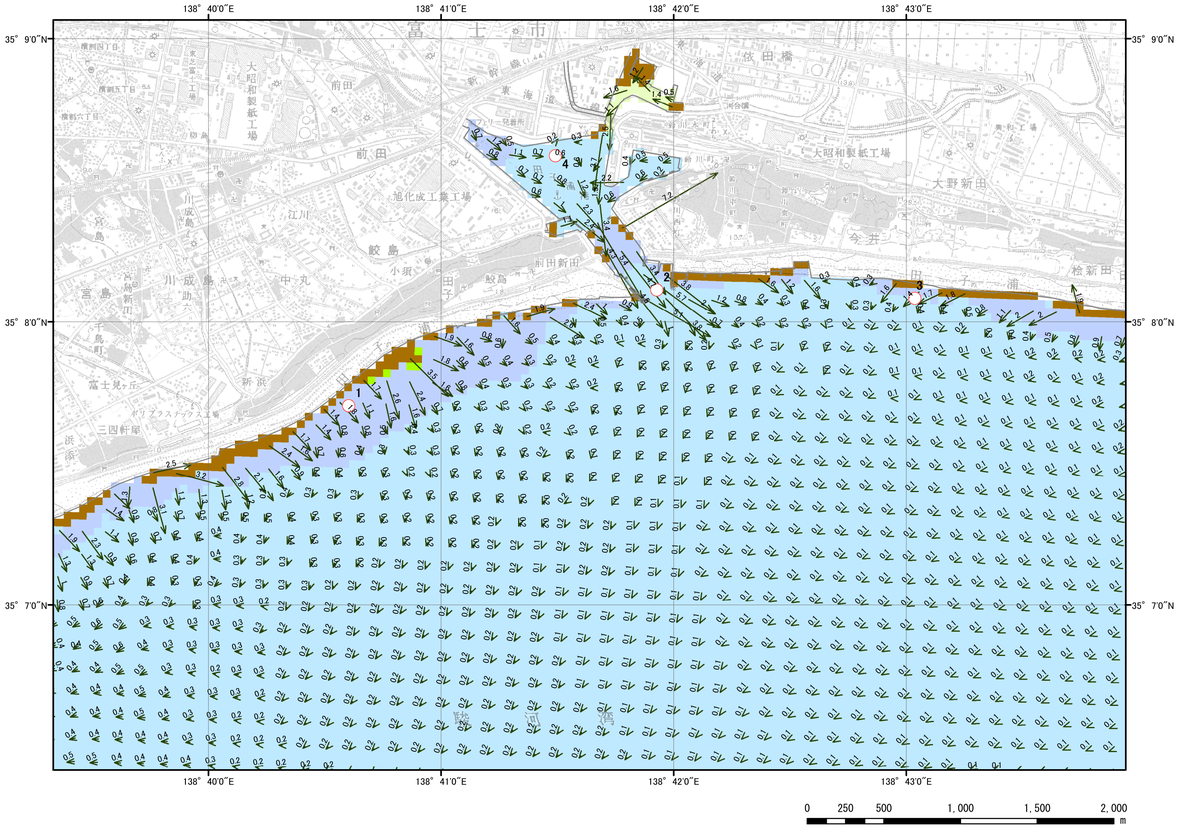
田子の浦港　津波防災情報図（引潮図）

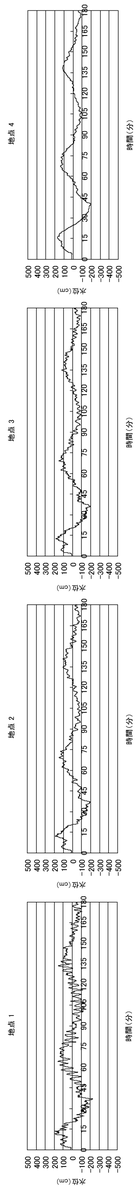
計算条件：最低水面

隆起量：平均13cm(4cm～39cm)

・津波は、震源の位置、規模、細かな地形の影響などにより、試算した津波と異なることがあり、過去には、今回の津波の試算より大きな津波が来たことがある。

・この地域は震源域である。震源域では、地震発生直後に津波が発生する可能性があるため、津波の到達時間は記載していない。





経時変化図：図上の位置における津波の挙動を時系列で示す。

1:20,000

座標系：メルカトル図法
測地系：世界測地系(WGS84)

凡例

- 露出域
- 経時変化図出力点

最大水位低下

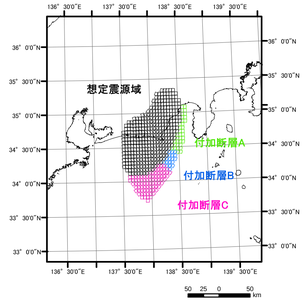
- 250～最大260cm
- 200～250cm
- 150～200cm
- 100～150cm
- 50～100cm
- 50cm未満

引潮時最大流［knot］

- 3 knot
- 2 knot
- 1 knot

・海岸構造物は、地震・津波の影響を受けないものとして計算している。

想定震源域と付加断層の位置



	中央の概位	中央の深さ
想定震源域	34°45′N,138°02′E	19km
付加断層A	34°45′N,138°30′E	4km
付加断層B	34°15′N,138°20′E	6km
付加断層C	34°00′N,138°00′E	7km

・本図は、中央防災会議「東海地震に関する専門調査会（平成13年12月11日）」で公表された断層モデルを使用した。

・試算に使用したデータは、海上保安庁海洋情報部のJ-EGG500、J-BIRD、沿岸の海の基本図地形データ、及び海図を作成する際の基礎データ等を使用した。

・この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。
(承認番号　平１５総複、第６７３号)
・この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を使用したものである。
(承認番号　平１５総使、第６７２号)

作成機関　：海上保安庁
作成年月　：平成１５年　３月（初版）
第２回改訂：平成１６年　３月（ver1.2）